

## 特産品開発・PR 関連 / ふるさと納税活性化

辰野町の良いものを、もっと広めるために。。。

2018年に地域おこし協力隊として着任してから取り組み続けてきた「辰野町の特産品開発」と「ふるさと納税の活性化」に関わる活動です。2021年度からは集落支援員として、ふるさと納税の活性化により力を入れてきました。

### 【これまで】



**町内の素材を活かした商品の開発** 2021~2022

kikimai ~好きを見つける9つのごはん~  
「学びながら食べて、好きを見つける」がコンセプト

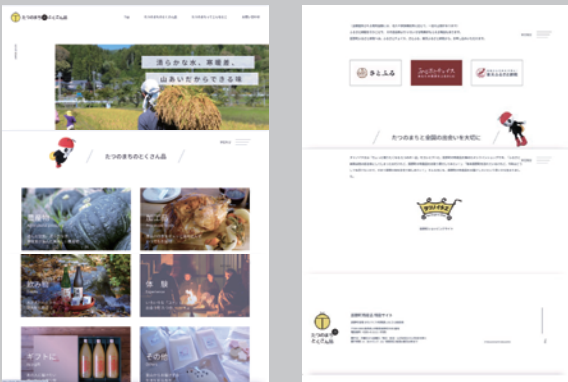
木工用みつろうクリーム  
「all 辰野産」がコンセプトの木工用・皮革用仕上剤

**ふるさと納税の活性化** 2021~2023

SNS 発信を活用した情報発信  
楽天ふるさと納税のページ改良・回遊性向上  
新規返礼品の提案・登録補助  
返礼品ページの作成・事業者取材・写真撮影



### 【退任後】



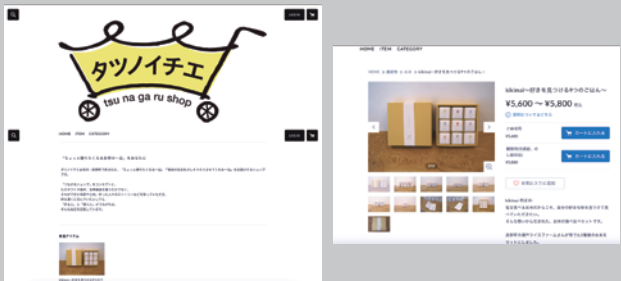
**特産品特設ページ**

辰野町ふるさと納税に登録されている商品を中心とした、特産品やお土産物、ギフト商品などを紹介する特設サイトの管理・運営。

商品の詳細からは「町内で買える場所」「各ふるさと納税ポータルサイトへのリンク」「タツノイチエ（後述）」へのリンクから、ユーザに合わせた購入方法へ誘導する。

**タツノイチエ（特産品 EC サイト）**

「ちょっと贈りたくなる 辰野の一品」をコンセプトに、辰野町内の産物（農産物、加工品、飲料、雑貨、体験プラン等）を扱うインターネット通販サイトを管理・運営。町内外から辰野の良いものを買っていただくことができるように。




## トモリ舎

ど真ん中みらい会議から生まれた、「つながり・はぐくむ」をコンセプトに、辰野町の里山と子どもたちを健やかにはぐくむプロジェクトです。

トモリにはいくつかの意味があります。「～と森」と言うように、何かと森を組み合わせること。ローマ字で書くと「To MORI」と森へ向かうという方向性を示し、漢字で書くと「灯り」となります。つながりを育み、そのつながりが地域や子どもたちを育てていくことを目指しています。それは、常に地域の自然や森と共にあること。そしてみんなが森の中に行き共存していくこと。それが最後は、辰野町に新たな文化を灯していく動きになることを目指しています。



## 【これまで】




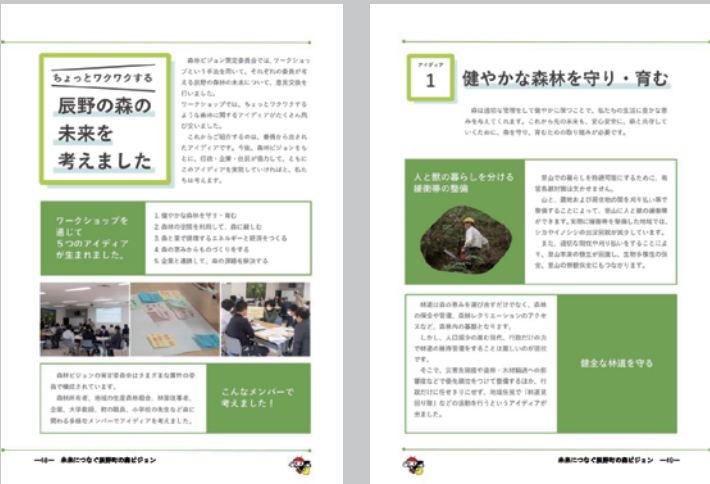
### フォトフレーム贈呈事業 2022~2023

辰野町産の木材を山から買い、製材し、フォトフレームに加工して、レーザー刻印で赤ちゃんのお名前や誕生日を入れて、出生届を提出したご家庭にプレゼントする取り組みを令和4年度から開始。産業振興課林務係と連携し、森林環境譲与税を活用しての取り組み。

### 小学校で木育の授業を実施 2022

「森や木に親しむこと」を目的に、小学校や中学校へ木育の授業を提案。2月に西小学校4年生で樹木医による講話「森と木のはなし」、木工授業「辰野産ヤマザクラでお名前マグネットを作ろう」を実施。産業振興課林務係と連携し、森林環境譲与税を活用しての取り組み。





### 辰野町 森ビジョン策定委員会に委員として参加 2023

辰野町の「森林ビジョン」を策定するための策定委員会に2023年度より委員として参加（経緯：トモリ舎として町内の森林に関するプロジェクトを行っているため）。2023年10月には委員のみなさん同士のより活発かつざっくばらんな意見交換のためにワークショップを行い、その結果を「50年後の未来へ～策定委員の提言～」としてまとめた（ビジョン冊子P.48～）



## その他



## 住民会議のファシリテーション

## 地域計画のためのよりあい会議 2021

第6次総合計画内の地域計画策定のため、よりあい会議を各地区で開催し、ファシリテーションを行う予定だったが、感染症拡大の影響で2021.01以降中止。

## ど真ん中みらい会議 2021~2022

1~2ヶ月に1回の頻度でプロジェクトチームの情報共有・交換を行っており、2022.02には新規プロジェクトチーム募集のためのワークショップを開催予定だったが、感染症拡大の影響で中止。

## 商店街に店舗を Open 2021.04~

自主事業として「月夜野こまもの店」を Open。カフェのメニューで瀬戸ライフファームの米粉をはじめとした地元食材を活用するほか、店内には、町内生産者（主にふるさと納税返礼品登録事業者）の商品を扱う物販コーナーも併設。電車待ちの高校生の立ち寄り場としても定着しつつある。



## LINE スタンプデザインワークショップ 2021~2023

町内在住 / 在学中の大学生を対象としたデザインワークショップを開催。辰野町のオリジナルLINEスタンプを作ることを題材に、デザインを学ぶ。成果物のLINEスタンプは令和5年5月末リリース。LINEスタンプ販促ステッカーをほたる祭り期間中に休憩所各所および辰野町役場に配置し、無料配布。

LINEという多世代が利用するSNSを通して、多くの人に使ってもらうことで、辰野町のPRを目指す。2023.03時点で150~170セットを販売。町内在住の方に限らず、辰野町を訪れた関係人口が購入し使用していただけるケースも。！！スタンプは左のQRコードからご確認ください！！



## 集落支援員 苫米地花菜

2018~2020年 地域おこし協力隊として特産品開発などをミッションに活動。  
2021年~ 集落支援員として特産品開発・PR、ふるさと納税活性化などの内容で活動。ど真ん中みらい会議などにも携わる。

2022年 集落支援員の活動と並行して、商店街にカフェおよび辰野町の事業者の商品を取り扱う店舗を構える。

2023年3月 集落支援員退任。